

めぐみイエス・キリスト教会

2020年1月5日(日)2020年新年礼拝
週報「通算第488号」



2020年標題聖句

第I テサロニケ5章16節～18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年1月5日 2020年新年礼拝

第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時

司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌183「悩める人々」 p. 266

【交読文】 No.47 出エジプト記第20章 p. 916

【賛美Ⅱ】 新聖歌282「見ゆるところによらず」 p. 450

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.11 「ラザロ」

【聖書朗読】 第Ⅰテサロニケ5章16節～18節

【祈 禱】

【説 教】 《2020年標題聖句そのⅠ》 鈴木 竜実 牧師

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※聖書箇所「第Ⅰテサロニケ5章16節～18節(新約p. 367下段)

5:16 いつも喜んでいなさい。

5:17 絶えず祈りなさい。

5:18 すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

●ポイント1. ピリピ人への手紙による使徒パウロの勧め

※ピリピ人への手紙1章13節～14節「獄中から」 (新約p.350下段)

1:13 私がキリストのゆえに投獄されている、ということは、親衛隊の全員と、そのほかのすべての人にも明らかになり、

1:14 また兄弟たちの大多数は、私が投獄されたことにより、主にあつて確信を与えられ、恐れることなく、ますます大胆に神のことばを語るようになりました。

※ピリピ人への手紙4章4節「再再度による勧め」 (新約p.355上段)

4:4 いつも主にあつて喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。

●ポイント2. 「主にある喜び」とは？

※ヨハネの福音書16章22節「主イエス様の言葉」 (新約p.161下段)

16:22 「あなたがたにも、今は悲しみがあるが、私はもう一度あなたがたに会います。そうすれば、あなたがたの心は喜びに満たされます。そして、その喜びをあなたがたから奪い去る者はありません。」

※ガラテヤ人への手紙5章22節～23節「御霊の実」 (新約p.339下段)

5:22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、

5:23 柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。

●ポイント3. 「喜び」を奪うものとは？

※マタイの福音書7章1節～5節「山上の垂訓から」 (新約p.10上段)

7:1「さばいてはいけません。さばかれないうためです。

7:2 あなたがたがさばくとおりに、あなたがたもさばかれ、あなたがたが量るとおりに、あなたがたも量られるからです。

7:3 また、なぜあなたは、兄弟の目の中のちりに目をつけるが、自分の目の中の梁には気がつかないのですか。

7:4 兄弟に向かって、『あなたの目のちりを取らせて下さい。』などとどうして言うのですか。見なさい、自分の目には梁があるではありませんか。

7:5 偽善者たち。まず自分の目から梁を取りのけなさい。そうすれば、はっきり見えて、兄弟の目からも、ちりを取り除くことができます。」

◎先週のメッセージの概要【主に感謝することとは？】

《2019年最後の主日です。この一年間を振り返り、感謝を捧げましょう。それにあって「主に感謝することとは？」について考えて見ましょう。

まず一番始めは、父なる神様が御子イエス様を、この地上に送って下さったことです。私たちに救い主が与えられたことを感謝するのです。

次は、イエス様を信じる者に与えられている「永遠の命」です。『神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく永遠の命を持つ為である。』と。私たちに、すでに永遠の命が与えられています。持っているのです。

ヨハネは明確に証言しています。

『御子を持つ者は命を持っており、神の御子を持たない者は命を持っていません。私があなたがたに対してこれらのことを書いたのは、あなたがたが永遠の命を持っていることを、あなたがたによくわからせる為です。』

最後に、パウロはこのように勧めています。

『すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。』と。

私たちは、この罪の世界から、主の一方的な哀れみと恵みによって、救いに導かれ、神の子とされました。よって、「感謝」出来ることだけではなく、「感謝」出来ないことをも「感謝」すべきなのです。それこそが、クリスチャンとノン・クリスチャンとの大きな違いと言えるのではないのでしょうか。それではどうやって、それを成し遂げることが出来るのでしょうか。

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々の為には、神がすべてのことを働かせて益として下さることを、私たちは知っています。」このみ言葉に立って、感謝出来ないことをも感謝するのです。私たちが感謝することによって、間違いなく状況は変わって行きます。イエス様を信じ信頼して、2020年も共に歩んで行こうではありませんか。》

◎お知らせ

※次回礼拝は1月12日(日)です。1月19日(日)第三主日は、鈴木師が聖書キリスト教会大会に出席する為、午後礼拝はお休みします。次回「聖書の学びと祈り会」は1月8日(水)に行ないます。